

通過テスト 1 3 解答

13

文字列処理と書式化

1. B

【解説】`s.concat("d")`は"abcd"という文字列を新たに作成して返す。`s`の内容が"abc"から"abcd"に変更されるわけではない。したがって、A, C, Eは誤り。`b.insert(5, "0")`は先頭から数えて6番目(0が先頭なので)の位置、つまり5の右側に0を連結する。`String`と違い、`StringBuilder`では内容が書き換えられることに注意する。したがってDは誤り。`b.delete(1, 2)`では先頭から数えて2番目～3番目を削除対象とするが終端である3番目は含まないので2だけが削除され詰められる。したがってFは誤りでBが正解。

2. C

【解説】"`%05d`"がnの書式指定で「5桁の幅で先頭の数値がない桁には0を補う」という指定。また、"`%+1.3f`"がxの書式指定で、「整数部1桁、小数部3桁で数値の前に符号を付ける」という指定である。書式指定文字列の前後に付加した無関係な文字はそのまま出力される。つまり、"`-%05d@@%+1.3f`"では先頭の"`-`"と文字dの右にある"`@@`"はそのまま出力される。

3. D

【解説】`DateFormat`クラスのクラスメソッド `getDateInstance` で書式化オブジェクトを作成します。389頁を参照してください。

4.

```
package e4;
public class Exec {
    public static void main(String[] args) {
        String[] adr = { "東京都あきる野市秋川〒179-0804",
                        "東京都葛飾区青戸〒125-0062",
                        "東京都品川区大井〒140-0014"};
        for(String s: adr){
            int p = s.indexOf('〒');
            String s1 = s.substring(p+1);
            System.out.println(s1.replace('-', ' '));
        }
    }
}
```

【解説】文字位置を知るのは `indexOf` メソッド。置き換えは `replace` メソッドである。
`indexOf` では、`s.indexOf(' 𐀀')` と文字を引数に充てるが、`String` クラスでは、`s.indexOf(" 𐀀")` のように引数に文字列を使用するメソッドがオーバーライドされているのでこちらを使ってもよい。